

第3回
港区議会
9月16日～
10月8日

区民の願い実現にがんばりました

ヒブ・子宮頸がんワクチン接種の無料化を 共産党議員団

9月16日に開かれた第3回定例区議会本会議での代表質問で、「ヒブワクチン接種費用を無料に」、「子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を」と質問しました。

区長は、「(ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン) 接種費用助成を実施する方向で検討する」と答えました。

この間、毎議会の代表・一般質問で取り上げてきたことが実を結びました。



「実施の方向で検討」…区長

『2011年度予算に対する重点要望書』を区長に提出

日本共産党港区議員団は9月17日、『2011年度当初予算に対する重点要望書』を区長に提出しました。

『要望書』は、この間の選挙や区民アンケート、区民・各団体との懇談会等で寄せられた意見、要望を精査し、特に緊急かつ重要な項目について絞り込み、来年度予算要望としてまとめたものです。



区長要請する
党港区議員団

私立幼稚園保護者の教育費負担軽減 に関する請願

全会一致で採択

保護者のみなさんから負担軽減を求める請願が出され全会一致で採択されました。この間、公私格差は縮小されてきましたが、依然として教育費負担の格差は月三二、五六八円にもなっているため、格差解消に向けたさらなる取り組みを切望したものです。

保護者のみなさんから負担軽減を求める請願を二分の一以内とする目標を掲げてきたが、ほぼその目標が達成でき、今後は、例えば「三分の一以内へ」など新たな目標を設定するべき。と質問。また、年度の途中で保育料以外の様々な保護者負担が増えてくるのだから、教育委員会が保護者との定期協議の中で、話し合っ解決すべきだと質問しました。

高い固定資産税の引下げを都に求めよ

固定資産税が上がり、ビルオーナーの経営が厳しさを増しています。「港区が都に対して、固定資産税を引下げよう要求せよ」と質問。企画課長は、都が税額の上限を前年度の一、一倍に抑え、各種の軽減策もあるので「要望しない」と答えました。

まつりや、防災、国勢調査等々、様々な協力をして区政の支えをしています。この方々が高い固定資産税に苦しんでいること。ビルオーナーの苦しみに心を寄せることが区の姿勢ではないのか、と決算委員会で質問しました。区長は、固定資産税が増加傾向にあること。区民の生活は引き続き厳しい状況にあるということ。基本認識だと答えました。

中小ビルオーナーの多くは、代々港区に住みつけてきた方々で、ビル経営とともに、商売をしている方が多く、町会の役員、消防団員、老人クラブなどの地域の中心的な役割を果たしていることも共通しています。区民

区民の生活は引き続き厳しい状況にあるということ。基本認識だと答えました。党区議員団が提案した「固定資産税の負担軽減を求める意見書」が、全会一致で議決されました。

09年度決算委員会

決算5案 認定せず

議員団は、無認可保育所入所者の助成、待機児童の解消、特養ホーム待機者の解消、精神障害者に障害者手当を、絶対高さ制限の導入、再開発事業の検証、再開発への補助金やめよ、学校にウォータークーラーを、国保料値上げはし

ない等々を提案しました。ところが区長答弁は区民には冷たい姿勢。一方、市街地再開発事業には多額の補助金を投入。このため決算5案は認定しませんでした。

3
つのゼロ
めざします

- ◆ 75歳以上の高齢者の医療費
- ◆ 保育園の建設で待機児童
- ◆ 特養ホームの待機者

ゼロ

日本共産党

港区議員団ニュース

2010年 秋季号

発行：日本共産党港区議員団

〒105-8511 東京都港区芝公園1-5-25 TEL：03-3578-2945 FAX：03-3578-2947

メール mail@jcp-minatokugidan.gr.jp

ホームページ http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

保育園待機児童解消へ本腰入れよ

全国でワースト23位

東麻布保育室の延長を 求める請願が採択

党区議団は、緊急暫定保育室の設置を提案してきました。区もこの提案を受け入れ、現在、五ヶ所の保育室に六〇五名の子どもたちが入園しています。

しかし、保育園の待機児童数は、八月一日現在九二〇人（旧基準）と依然として深刻です。厚労省の調査で、全国の自治体の中で待機児童数がワースト二三位、二三区中ではワースト八位です。

東麻布保育室の継続を求める請願が関係者から一五四筆の署名とともに出され、全会一致で採択されました。党議員は、本会議で東麻布保育室の継続を質問。区も「延長の方向で検討」と答えました。さらに、国公有地を活用して緊急暫定保育室の設置を全庁上げて努力せよと提案しました。高輪保育園の継続使用も強

く要望しました。

区は、暫定保育室設置について、全庁的に有益な情報取得に努め、待機児童解消をめざすと答えました。



楽しい保育園の運動会

外出に酸素ボンベが必要なのに

福祉タクシー券支給しない

呼吸器障害三級の方で、外出を含め常に酸素ボンベを携行、「病院に行くにもタクシーを利用」、ところが、障害者に支給されるタクシー券が支給されません。

党区議団は、「三級であっても、常時酸素ボンベが必要」で、病院に行くにも「タクシーを利用せざるを得ない方へ生活実態にあわせてタクシー券を支給するよう」質問しました。しかし区長は、「酸素ボンベを携行していれば移動が可能」だから「三級は支給対象にしない」、「実態把握に努めていく」と障害者のおかれた状況を考えない答弁。決算委員会でも重ねて質問。すでに二三区中十区で内部障害三級でもタクシー券を支給。二区で「常時酸素ボンベが必要な三級の方」に支給していることを示し、生活実態に即して「タクシーが必要な方にはタクシー券を支給すべき」と質問しましたが、「内部障害の方の生活状況やニーズなどの実情を十分把握し、適切に対処」とすると、本会議の答弁の繰り返しでした。

精神障害者にも

心身障害者福祉手当を

精神障害者にも心身障害者福祉手当を支給するよう、質問しました。

心身障害者福祉手当は①身体障害者、②知的障害者、③特殊疾病（国、都が指

定する八一の難病）、④その他各号に準ずる者（脳性まひ、進行性筋萎縮症）の方々に支給されている。これだけ広い人達に支給しているのに、精神障害者だけは除外、「差別している」としか考えられないこと。障害者基本法では、「障害を理由に、差別すること」を禁止していることを示し、精神障害者にも「心身障害者手当の支給」を求めましたが、「検討課題と考えている」との冷たい答弁に終始しました。

七五歳以上の医療費を無料に

日本は、すべての国民が公的保険に加入し、必要な医療を保障される「国民皆保険」の国といわれていました。医療保険というのは、万一の病気のために保険料を払うわけですから、高い保険料を払った上、窓口負担があるのでは、保険とはいえません。

当面の対策として、七五歳以上の医療費負担をゼロにする、「医療費無料制度を国に求める」こと。

国が実施するまでの間、長年にわたって社会を、港区を支えてきた高齢者に感謝と敬意の気持ちを込めて、港区として「七五歳以上の医療費の助成制度の実施を」と質問しました。

区長は、「医療費の助成制度の実施は考えていない」と冷たい答弁でした。



高校生まで医療費を無料に

貧困と格差の拡大で区民生活は大変です。三人に一人が非正規雇用、女性と若者では二人に一人が非正規雇用。景気の後退・円高による影響をもろに受ける中小企業・商店は深刻な事態です。貧富の差によって医療に差別が生じることがあってはなりません。全国ではすでに一七

市町で高校生までの医療費無料化を実施しています。

子ども達が安心して治療に専念できるように、「医療費の無料化を高校生の年代まで拡大する」よう質問しました。

区長は、「現在のところ考えていない」と答えました。

特別養護老人ホームの増設を

「ありすの杜南麻布」が開設しました。しかし、七月の特養ホームの申込者は三六

〇名と深刻です。待機者をなくすよう特養ホームの増設を求めました。ところが担当課長は、「要介護認定者数の推移等を見定め、保健福祉計画改定の中で、整備の必要性を検討」とすると、従来からの答弁を繰り返すだけで、入所待ちをしている高齢者に思いを寄せないひどい態度です。

要介護認定者数の推移については既に明らかになっていること、保健福祉計画改定の中で検討では、待機者数からみても遅すぎる事を指摘し、重ねて増設を求めました。

「一律の制限は考えていない」

高さ制限 区の姿勢

党区議団が毎年取り組んでいる「区民アンケート」でも、約八割が「高さ制限が必要」、「超高層ビルはこれ以上いらない」と回答しています。

この間、区は、「港区にふさわしい高さ制限を設定していく」と答えてきましたが、具体的内容は明らかにしていませんでした。

党議員は、「再開発事業」や「総合設計制度」などを活用すれば、制限が効かないような「高さ制限」ではなく、区内どこでも、どんな手法でも「これ以上の高さは認めない」という絶対高さ制限の設定をすべきだと質問しました。

これに対して区は、「区内一律に決まった数値で高さ制限を行うことは考えていない」と答弁。結局は再開発などの手法を使えば、抜け穴だらけの制限になってしまいます。まち破壊、環境破壊を許さない区民の運動が必要です。



森ビルなどへの支出を 中止せよ

再開発補助金

今後 九年間で二八〇億円

区は、森ビルや三井不動産など大企業が進める再開発事業に、過去二七年間に二三八億円の補助金を支出、今後九年間で、二八〇億円もの税金投入を計画。規模とスピードを大幅に上げています。「なぜ森ビルなどに補助金を出すのか。やめるべき」が、圧倒的な区民の声です。森ビルなどへの再開発補助金はキツパリと中止すべき。区民が補助金支出をどう考えるか、無作為抽出で調査すべき。と質問しました。

区は、「市街地再開発事業への補助金は今後も必要と考える」と答え、引き続き補助金を出す姿勢です。

今後9年間で280億円もの税金投入！ 再開発補助金をやめ、区民の

6名の議員団奮闘

2010年第3回定例会が9月16日から10月8日まで開かれました。今議会は、09年度の各会計決算の審議も行なわれました。決算審議は来年度予算に区民要望を反映させ



青山福祉会館

福祉会館の管理・運営を民間に丸投げ
福祉会館の管理・運営を請け負う事業者を決める議案が、自民・公明・民主などオール与党の賛成多数で可決され、二〇一一年四月から指定管理となります。利益優先の民間企業が管理・運営を行うことから、区民サービスの低下、使用料の値上げにつながりかねないことから、党区議団は反対しました。

『大東亜戦争』と子どもたちに伝えよ！ 驚くべき認識 保守日本

決算委員会で、『太平洋戦争』を『大東亜戦争』と、子どもたちに正確に伝えるべき」という質問が保守日本の議員から飛び出しました。侵略戦争当時の歴史観を今も持ち続けている驚くべき質問でした。

「大東亜戦争」との呼び名は、欧米諸国の植民地支配下にあったアジア諸国を解放して「大東亜共栄圏」を確立することが戦争の目的であるとして、当時の軍事内閣がつけた名前です。日本の侵略戦争であることを覆い隠し、子どもたちに歴史の事実を偽って教えることは許せません。

戦後は、誤った戦争を重大な教訓として日本国憲法前文でも「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意」したのです。

「保守日本」(鈴木洋一、水野むねひろ、山本閉留巳の3議員)は、前定例会で結成されました。結成を前後して右翼的な発言が増えています。この間、学校行事として靖国神社を参詣すべきとか、旧日本軍の勇姿を学校で教えるべき、などと繰り返しています。

ローカル紙は、保守日本が区議会控室内に「神棚を飾り、御祓いが行われた」と報じました。



シルバー人材センターの仕事確保を区の掲示板管理業務、来年度実施の方向で検討
党区議団が質問し続けてきたシルバー人材センターの仕事確保は、すべての事業者が、平日の夜間や休日は「シルバーにお願いする」ことが、答弁で明らかになりました。

国民健康保険料大幅値上げを計画 区民に知らせず密室で準備

来年度の国民健康保険料をいくらにするか、区長会の下命を受けて23区国保課長会で検討されています。今までの住民税を基礎とした計算方法から、扶養控除や障害者控除などができなくなる「旧ただし書き方式」(基礎控除のみ)に変更しようとしており、大幅な値上げになります。

課長会の試算によると、家族の多い人、低所得者が負担増となります(別表参照)。軽減措置を検討していますが、それだけひどい値上げということですし、経過措置が終われば大幅な値上げが待っています。

経過措置でも、65歳未満の給与所得者年収400万円が4人世帯の場合、年間42,275円の値上げ、年金受給者2人世帯で年収200万円の場合8,054円の値上げになります。

国保は、高齢者や自営業者などが加入、収入のない方や事業者負担がないため、国の財政負担は当然です。1980年代には国の負担が50%だったのに、現在では25%に大幅に下がっています。

高い保険料のため、港区では滞納者が37%、値上げが続けばますます滞納者が増え、国保事業そのものが崩壊してしまいます。

さらに国は、国保への一般会計からの繰り入れをさせないようにと、都道府県単位での運営をうちだしています。

党区議団は、検討過程の情報を区民・議会に明らかにすること、国保運営協議会の意見を聞くなど、区長会の結論だけの押しつけをやめるよう、がんばっています。

収入・世帯構成別保険料モデルケース

平成20年度ベース 賦課割合変更なし
給与所得者(65歳未満)4人世帯 (円)

年収	200万円	300万円	400万円
住民税方式(現行制度)	118,080	154,839	207,450
旧ただし書き方式(本則)	167,386	235,686	276,682
差額	49,306	80,847	69,232

商店街の宅配事業 実現に向け、積極的に支援する
党区議団はこれまで、商店街の活性化と、高齢者の生活支援策として、宅配事業を提案してきました。期日前投票業務に、延べ三九〇人が従事、会員さんも大変喜んでいました。また、これまでシルバーが行っていた掲示板の管理の仕事についても、来年度実現できるよう求めました。担当課長は、「掲示板管理業務の委託の可能性については、条件整備に努めてまいります。」と答弁しています。引き続き実現できるよう取り組んでいきます。

業を提案してきました。「空き店舗などに区から人を配置し、FAXをおいたり御用聞きに行けば、高齢者の安全確認にもつながる」こと。商店街の若手会員が宅配事業を実施している商店街を視察、宅配事業の検討をはじめたことから、区として「積極的な支援が必要」と質問。「配送手段の確保等課題はあるが、実現に向け、積極的に支援していく」と答えました。



共産党は

「なんでも反対」

ではありません

56%に賛成

共産党は「なんでも反対」と思われていませんか。それは大きな誤解です。

共産党は、「区民のためになる」議案には賛成。「区民のためにならない」議案には反対する。明確な基準のもとに判断しています。また、ただ反対でなく「こうすれば区民のためになる」と、質疑の中で積極的に改善の提案を行っています。

前回の区議会議員選挙以降の議案に対し、五六%に賛成（従前は七割～八割）しています。賛成率が下がっているのは、区民の施設の管理・運営を民間に丸投げする「指定管理」の議案が多くなったため（この間、一〇〇の施設を指定管理）反対する割合が高くなっています。

また、共産党議員団六名は、積極的に条例提案を行ったり、予算案の修正を提案するなど、区民生活を守るために活動しています。

一方、共産党以外の政党・会派は区長提出の予算・決算や、国保料の値上げ、森ビルなどへの再開発補助金に「なんでも賛成」オール与党の立場です。

事業費が六〇〇億円も

東京ガス跡地に計画されている田町駅東口公共公益施設は、どんな手法で行うのか、総事業費がどれくらいになるのか、全体像を区民に知らせないまま来年四月着工予定で進められようとしています。

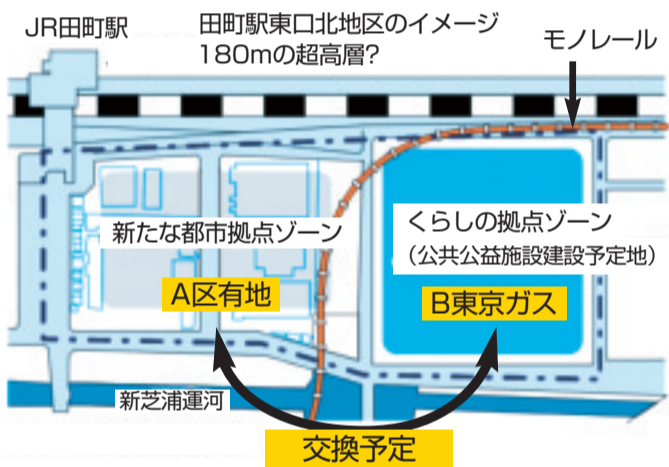
こうした中、九月七日に開かれた「まちづくり・子育て等対策委員会」では、土地区画整理事業を予定し、都市再生機構（UR）に施行の要請をすること、三月に区長と東京ガスで覚書を取り交わし、区長が都市再生機構に土地区画整理事業の実施を要請していたことを明らかにしました。

土地区画整理事業で実施すると、区民の財産である駅前の一等地と東京ガス跡地の評価額さえ明らかにせず交換されます。

また、事業費も公共公益施設の建設費、土地区画整理事業費や既存施設の解体工事費などで約六〇〇億円にもなり、さらに建設費の数倍と言われるランニングコストがかかるため区民に

大きな負担が押しつけられる不安が広がっています。第三回定例区議会に「田町駅東口北地区公共公益施設の計画を、再検討する事」を求める請願が提出されました。

※区の説明を元にイメージを作成



芝公園紅葉谷の修復工事 早急に都に要請を

紅葉谷の中にある蛇塚へ通じる階段が崩壊しているために、九月八日より紅葉谷への立ち入りが禁止されています。

これから紅葉の時期を迎え、東京タワーや、芝公園を訪れる人も多くなります。早急に修復するよう質問しました。

都立芝公園グランド前の小川も、ポンプが壊れたままで、水が流れないままです。再三、議会でも取り上げてきましたが、未だ改修されないうままです。都に「早急に改修するよう要請を」と質問しました。



立入り禁止の紅葉谷

「江戸姫たちの戦国」 区の観光に生かせ

来年のNHKの大河ドラマ「江戸姫たちの戦国」を区の観光と商店街発展に活かすよう質問しました。

お江は、徳川二代将軍・秀忠の正室、三代将軍・家光の生母です。増上

寺に埋葬されています。

港区でも区と教育委員会、観光協会、区商連、増上寺と具体的な協議を行い、大きな成果が得られるよう進めべきだと質問しました。

区は、教育委員会、港区観光協会、

港区商店街連合会、増上寺を委員とする「お江記念事業検討委員会」を設置し、十一月に開催の「ものづくり・商業観光フェア」に関連し、増上寺の徳川将軍家霊廟を特別に公開するなど、相互に連携協力して効果的に事業を実施する。港区観光協会では、歴史観光

シンボルとして、イメージキャラクター「江戸姫」を作成し、関連事業やオリジナル商品作りに活用する。と答えました。党区議団の提案が具体化されています。



区観光協会の「江戸姫」キャラクター

区民要求実現のため、がんばります



いのくま正一 (3431) 3449



大滝 実 (3457) 1525



沖島えみ子 (3443) 4517



風見 利男 (3400) 5015



熊田ちづ子 (3583) 1402



星野たかし (3449) 1202

困ったときはすぐ相談を 6名の区議が毎月相談会を開いています